

名古屋大学大学院国際開発研究科 教員公募

1. 職名・人員 名古屋大学大学院国際開発研究科「経済開発政策・マネジメント」学位プログラム担当
及び 全学語学教育（初修外国語のスペイン語, 中国語, 又はドイツ語）担当
教授又は准教授 1名
2. 担当分野 担当科目：大学院科目（英語講義科目）
・科目 採用当初2年間は、プログラム代表と協議の上、以下のプログラム提供科目群より希望と能力
に応じて担当。

- 1) 以下のプログラム必修科目のどちらか一つ[春学期15回],
「開発マクロ経済学」（マクロ経済学の基礎を前提に開発のコンテキストで実施）
「開発ミクロ経済学」（ミクロ経済学の基礎を前提に開発のコンテキストで実施）
又はミクロ経済学・マクロ経済学のオリエンテーション・補講を担当 [不定期]。
 - 2) プログラム選択(必修)科目の科目群（自由設計の特論を含む）の中から希望に応じて担
当。[春学期又は秋学期15回]
(ただし、採用当初2年間は現教員提供科目の共同実施も選択肢とする。)
 - 3) 以下のプログラム必修演習（ゼミ）
「経済開発政策・マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ」[通年]
(修士論文及び博士論文の研究指導を担当。ただし、採用当初2年間は
現教員提供演習の共同実施も選択肢とする。)
- 採用2年後に語学教育関連の業務負担を再吟味し「経済開発政策・マネジメント」プログラ
ムにおける業務担当を再調整する。

担当科目：全学語学教育科目

全学語学教育関連の業務は、国際開発研究科長の指示に基づいて行う。

- 4) 全学語学教育における初修外国語のスペイン語, 中国語, 又はドイツ語担当。
[春学期及び秋学期]
担当する語学のコマ数は、30年度・31年度は7コマ、32年度から6コマとする。
- 5) 語学教育に関わる教養教育院・言語文化部門・初修外国語部会等の会議及びFDに出席す
るほか、部会運営上の職務（入試責任者を含む）を分掌。

当教員ポストには名古屋大学全学の語学教育（初修外国語：スペイン語, ドイツ語, 又は中国
語）担当負担があります。これを踏まえ、研究科としては管理運営に関わる業務等の負担軽減
措置を講じる予定です。

(名古屋大学大学院国際開発研究科は1991年に、異文化尊重の精神に基づき、開発途上国の開発及び
国際協力に関する研究と専門家養成を行うことを目的として創設された学部を持たない独立大学院で
す。留学生が在籍学生の半数以上を占め、講義・ゼミ等は全て英語で実施されています。「経済開発政策・
マネジメント」学位プログラムでは、理論・実証・実践のバランスの取れた研究・教育を展開し、多くの
開発エコノミスト、国際経済開発協力人材、途上国行政官・大学教員等の国家中枢人材を輩出してきてお
り、世界に卒業生のネットワークを構築しています。狭い専門領域にとどまらず、他分野の研究者・実務
家との協働をいとわず、経済開発を広義の開発の中での的確に捉え、世界の経済開発ニーズ、バランスの取
れた開発エコノミスト育成ニーズに呼応しつつ教育研究及び社会貢献に取り組む、進取の気性に富む人
材を求めています。)

3. 応募資格 1) 経済学又は関連分野の博士学位を有し、経済開発に関する博士学位論文の指導能力を有す
る者

- 2) 英語による講義・学生指導を行い得る者
- 3) 担当分野又は関連分野における教育経験を有することが望ましい。
- 4) 担当分野に関して開発途上国での調査研究又は実務経験を有する者
- 5) 国籍は問わない。ただし、全学語学教育担当にあたり、担当言語能力が母国語レベルであること及び言語教育並びに学務事務作業に最低限必要とされる日本語能力も有する者
- 6) 出身地域、担当語学の主要使用地域と日本・アジア地域の開発経験を比較分析・提示できる者が望ましい。
- 7) 科学研究費補助金等の外部競争的研究資金を獲得し、国際的な共同研究を実施する意欲と能力を有する者。国際共同研究への参加実績を有することが望ましい。

4. 応募書類
 - 1) 履歴書(A4サイズ, 写真貼付, 書式は自由。国籍, 生年月日, E-mailアドレスを記入のこと。)(和文又は英文)
 - 2) 研究業績一覧 (提出する5点の業績にマークをつけること。)(和文又は英文)
 - 3) 主要著書・論文(合計5点まで。別刷, コピーも可)
 - 4) 国際開発研究科における教育, 研究指導に関する抱負(和文3,000字程度, 又は英文1,000語程度)
 - 5) 経済開発に関する研究関心と将来の研究計画(和文3,000字程度又は英文1,000語程度)
 - 6) プログラム内希望担当科目の1科目(又は2科目)についての講義シラバス案(講義の目的, 講義の概要, 15回の講義予定, 教科書・参考書について, それぞれ英文A4版2ページ程度)
 - 7) 全学語学教育で担当する初修外国語(スペイン語, 中国語, 又はドイツ語)の言語能力が母国語レベルであることを証明する書類等
 - 8) 上記1)～7)の書類をそれぞれ5部作成すること(書籍は1部のみ送付)。応募書類をCDに収納して提出可(5部作成のこと)。応募書類は原則返却しません。返却を希望する場合は, 返信用封筒を同封のこと。切手貼付又は受取人払いであることを明記すること。
※ 提出書類は, 本選考のためだけに使用します。
5. 応募期限 平成29年11月17日(17時必着)
6. 採用予定 平成30年4月1日(原則として)
7. 選考方法
 - 1) 第一次審査 書類審査
 - 2) 第二次審査 面接(英語による模擬授業, 及び担当言語能力審査を含む。)
11月下旬を予定。面接のための旅費は支給しません。
8. 応募書類送付先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院国際開発研究科長 伊東早苗 宛
封筒に「経済開発プログラム担当教員応募書類在中」と朱書き, (簡易)書留郵便で送付してください。海外からの発送は発送記録の残る方法で送付してください。
9. 問合せ先 名古屋大学大学院国際開発研究科 経済開発政策・マネジメントプログラム代表 大坪滋
E-mail: sotsubo@gsid.nagoya-u.ac.jp
研究科(GSID) HP: <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/index-en.html>
新「経済開発政策・マネジメント」プログラム(含:カリキュラム表):
http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/sotsubo/EDPAM_Program_Flyer.pdf
http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/sotsubo/EDPAM_Panel_201710.pdf
※電話による問合せには応じません。

注) 本研究科では, 平成30年4月から組織再編をします。本公募に記載のあるプログラム及び科目名称等は再編後の名称です。